

# 「食べ物の保存について調べたことを紹介し合おう」

～目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む～

本授業アイデア例では、疑問に思ったことを調べるために、文章の内容を的確に押さえて必要な情報を見付け、自分の考えを明確にしながら読むことの指導事例を紹介します。なお、本授業アイデア例は、第5学年以上を対象としています。

## 授業アイデア例

### 〈主な学習活動〉

### 〈指導上の留意点〉

#### 学習過程

第一次

第二次

第三次

食べ物の保存について調べたことを紹介し合う

① 食べ物の保存について調べたことを紹介し合うという課題を設定し、学習の見通しをもつ。

■ 食べ物の保存について、疑問点などを出し合い、自分が興味をもったことについて調べて紹介し合うという学習の見通しをもつことができるようにする。

■ 出された疑問点などを整理し、「みんなで調べること」と「自分で調べたいこと」について考えることができるようにする。「自分で調べたいこと」については、何を知りたいのか、どのような情報が必要なのかを第一次から第二次の間で明確にできるようにする（※参照）。

②③ 「みんなで調べること」について知りたい情報を明確にし、必要な情報が書かれた文章を読み、まとめる。

■ 「みんなで調べること」について、同一の学習材（ここでは本問の【資料】の一部）を用いて必要な情報を見付けながら読むことができるようにする。

■ 読んで見付けた情報とその理由を話し合うことで、ふさわしい情報は何かを明確にすることができるようにする。

④⑤ 「自分で調べたいこと」について、資料を読み、まとめる。

■ 第二次で学んだことを生かして「自分で調べたいこと」についての資料を読み、自分の考えを明確にすることができるようにする。

⑥ 調べたことを紹介し合い、単元の学習を振り返る。

■ 食べ物の保存について調べたことを紹介し合い、本単元で身に付いた力や、今後の学習などに生かしたいことについて振り返ることができるようにする。

単元を通して、食べ物の保存について書かれた本や文章を読む

#### 第一次～第二次

#### 「自分で調べたいこと」を明確にする（※）



春休みに食べた梅干しは、おばあちゃんが10年前に作ったものだと言っていたな。

#### 相談し合う機会を設ける



みんなは、どんなことを調べようと思っているの。

私は、野菜の塩漬けについてだよ。塩には、食べ物を保存する力があるんじゃないかと思って、塩と保存との関係を調べようと思っているよ。



ぼくは、納豆のねばねばについてだよ。納豆の本を読んでいたらそれが保存に関係しているようなことが書かれていたからだよ。

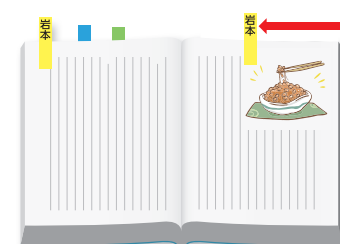


材料や食べ物の特徴に着目すると、調べたいことがはっきりするかもしれないね。私は、梅干しの酸っぱさと保存との関係について調べてみようかな。

#### 掲示板など、情報を共有する場を作る



#### いつでも読むことができるように、関連する図書をまとめておく



調べたページに名前を書いた付箋を貼るようしたり、観点別に付箋の色を変えたりするなどの工夫も考えられます。

岩本さんは、納豆のねばねばと保存との関係をこのページを読んで調べたんだな。



自分の課題を明確にもつことができない児童については、友達と相談し合う機会を設けたり、他の児童の課題を掲示する、関連図書のコーナーを設置するなど、環境を整えたりすることが効果的です。



## 問題の概要と結果

### ② 疑問に思ったことを調べ、紹介し合う（「食べ物の保存」）

② 一(1) 正答率 **80.9 %**

食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る、疑問に思ったことの①に対する答えとして適切なものを選択する

② 一(2) 正答率 **76.0 %**

食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「イ」に、疑問に思ったことの②に対する答えになるように考えて書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕  
C 読むこと ウ

第二次②・③／6

必要な情報が書かれた文章を読み、「みんなで調べること」についてまとめる

以下は、本問を活用し、「みんなで調べること」を「なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか」とした例です。

必要だと思う情報に線を引いてみたけれど、どれも必要な気がしてきたよ。みんなはどう思ったの。線を引いたところと、そこに線を引いた理由を教えてほしいな。



#### ◆ 食べ物は生命の源

生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。

例えば、リスは秋になるとドングリを土にうめ、食料をたくわえます。クマはたくさんのおなかを食べ、体に栄養をたくわえて冬眠に入ります。動物たちは、このようにして生きぬいているのです。

わたしたち人間は、食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができるというわけではありませんでした。季節や天候などにより、農作物や肉、魚などが手に入らないことがあったからです。また、運ぶ大量の食べ物が手に入ったとしても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまうこともありました。そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。失敗をくり返しながらいよいよ保存方法を獲得し、次の世代へつないできたのです。

めあて  
「なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか」について資料を読んでまとめよう。



筆者が伝えたい一番大切なことが書かれているのは、最後の文だと思うからそこに着目したよ。（赤色の線）



でも、最後の文は「なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか」ということの意味にはならないよね。



ぼくは、初めの二文に線を引いたよ。保存する方法を考えなければならなかった理由になっていると思ったからだよ。（青色の線）



ぼくもそこに着目したよ。「安定して確保する」ということは、「保存すること」に関係があると思ったからだよ。でも「食べ物を安定して確保すること」が大切なのは、今のぼくたちも同じだよ。知りたいのは昔の人のことだよ。



三段落目の「食べ物を保存する技術がなかったころ」というのは昔のことだよ。続けて読むと「いつでもおなかを満たすことができるというわけではありませんでした」と書かれているから、保存する方法を考えなければならなかった理由として大切だと思ったよ。（黄緑色の線）



その先に、おなかを満たすことができなかった理由が、具体的に書かれているよね。そこを読んだら疑問が解決したと思ったよ。（緑色の線）



みんなの理由を聞いて、必要な情報を整理できそうだよ。目的に応じて必要な情報を見付けて読むって大事だね。



内容のまとめや筆者の考えは文章の最初や最後に書かれていることがありますが、それが自分にとって必要な情報であるとは限りません。目的に応じて、自分が必要とする情報であるかどうかを判断することが大切です。

調べる過程で読む目的が曖昧になってしまうことがあります。常に目的を意識しながら、自分が必要とする情報を不足なく得ることができるか、最もふさわしい情報はどれかなどを考えることができるようにすることが大切です。

目的に応じて必要な情報を見付けることができるかどうかを確認するために、選んだ情報とその理由について友達と話し合う活動を設けることも大切です。

本授業アイデア例

### 活用のポイント！

- 課題設定の場面では、日常生活や他教科等の学習内容と関連付けて指導することが効果的です。その際、新聞やパンフレットなどの資料を活用することも考えられます。
- 必要な情報を見付けながら読む場合、文章全体の構成を捉えて読むことが大切です。その上で、目的に応じて重要な語や文を判断して読むことができるようにすることが重要です。